3年生　証明　入試情報

【 1 】出題頻度

H２０～R2 の１２年間、計２４回の入試の内訳
■相似　＝　１回
■式の変形（二次式）＝　１回
■円の性質　＝　１回
他すべて　合同証明や数を求める問題

【 2 】出題傾向

■選択・穴埋め　＝　～２８年度、R1（H31）再び穴埋めへ
■選択・訂正式　＝　２９年度

【 3 】対策重点項目

①相似
・２組の角がそれぞれ等しい　の条件が使われやすい。
ので、対応する角を図から見つけられるようにする。
・平行四辺形になる条件や直角三角形の合同条件なども用いて組み立てる証明にも慣れておく。

②式の変形
・連続する〇〇のいろいろなパターンを文字式で表せるようにしておく。
・式変形は、誘導（穴埋め）であり、途中式の計算を正確に行い最終系にもっていく計算力が必要。

③円の性質
・図を自作できるようにしておく。
・円周角の定理では、直径から生まれる直角三角形を用いることがあり、直角三角形の合同条件なども確認しておく。

【 4 】解き方の POINT

①（図で先に解いてから証明を読む流れ）
与えられた証明の流れを読む前に、相似条件を用いて図の中に書き込み解く。

②（証明を下から読む）
相似条件が先に分かるので、全体像をイメージしやすい。